

●PFAS汚染水問題 第2弾!

PFOAは「発がん性物質」 WHO (世界保健機構) が認定

WHOのIARC (国際がん研究機関) はPFASの一つである「PFOA」の発がん性分類を2段階上げ「発がん性がある」とし「PFOS」を1段階上げ「発がん性の可能性がある」としました。

PFASの毒性が日ごとに明らかにされる中、米国は4ng/Lに、デンマークは2ng/Lと規制を強めています。

日本のPFAS規制値50ng/Lが、適正かどうか見直しが迫られています。

IARCの人に対するPFAS (PFOAとPFOS) の発がん性の4分類 ('23年12月現在)

① 発がん性がある

PFOA

② 恐らく発がん性がある

③ 発がん性の可能性がある

④ 発がん性について分類がでない

PFOA

PFOS

PFOS

12月議会、PFAS問題の「請願」を否決

各務原市12月議会は①PFAS汚染対策費を水道料金に転嫁しないこと。②水道料金を減額すること③希望する市民に血液検査を、④国に対して暫定目標値を米国並みに要請などの「請願」を不採択としました。

各務原市議会のPFASに対する危機感と市民に寄り添う姿勢が無いことを露わにしました。

- 請願に反対した会派 「政和クラブ」「颯清会」「公明党」「無会派」
- 請願に賛成した会派 「日本共産党」「チームみらい」

私たちの運動が行政に変化の兆しを生む

血液検査の結果を受け12月4日「いのちの水を守る会」と市との懇談会において市は「健康相談の窓口設置」や「市独自の血液検査」の検討などの発言があり、従来にない姿勢を見せました。また、12月初め教育委員会が行った学校などの浄水器撤去も再設置させ、厚労省がPFASの一つ「PFHxS」を規制対象に加えましたが、これも4日に測定1日に公表と迅速に対応しました。市民が声をあげることの大切さを教えています。

昨年暮、アメリカと中国の大学研究チームが、PFASが環境中のDNA分解を促進、生態系に悪影響を与えると科学誌に発表した。PFASの脅威が日毎に明らかにされつつある中、目標値より下がったから大丈夫と思考停止に陥ってはならない。

新情報!



各務原市民 (三井水源地利用) のPFAS血中濃度は 深刻な汚染 沖縄や東京多摩地域よりも 73%の人が基準値* (20ng/mL) を超える。 (*・20ng/mLは米国アカデミーの基準値)

各務原市・三井水源地利用者100人の血液検査の結果

	PFOS	PFOA	PFHxS	PFNA	PFOS+PFOA	4PFAS 合計
平均 (ng/mL)	26.0	6.3	28.3	6.8	32.2	67.3
最大 (ng/mL)	107.9	15.6	67.7	23.9	121.1	199.9
20ng/mL 以上の人数 PFOAは10	58人	10人	62人	1人	73人	91人
(%)	58.0%	10.0%	62.0%	1.0%	73.0%	91.0%

PFAS血液検査から見えてきたこと!

- 三井水源地利用の市民7万2千人の内、健康リスクを抱える市民が5万人ほどいと推定できます。・・・この事態に私たちはどうすればよいのか？
- ①PFASの血液検査を通常健康診断でできるようにする。基準値20ng/mLを超える人は医者に相談しながら健康観察を続けていくことで健康リスクを下げる。
- ②PFASの血中濃度の基準値の設定を国に求める。
- ③PFASをできる限り体内に取り込まないようにするために市に浄水器の設置やペットボトル購入の補助を求める。

新情報 2

厚労省はPFASの一つ「PFHxS」を水質規制の対象に決めました。「PFHxS」は泡消火剤に多く含まれています。

上記の血液検査データの中で「PFHxS」値が62.0%と一番高いことに注目。



「いのちの水を守る会」
 入会QRコード

PFAS汚染からいのちの水を守る各務原市民の会

2024年1月発行

略称「いのちの水を守る会」

問合わせ先

各務原市新鷺沼台5-140 三戸 光則

☎ 080 5160 4462